

平成 29 年度 第 3 回評議員会（報告）

日 時 平成 30 年 2 月 20 日 16:00-17:00
 場 所 会議室
 参加者 学校評議員

	氏 名	役 職 等	推 薦 理 由	出 席
1	加藤 敬一	赤穂中学校教頭	地元中学校	○
2	小原 恒敏	定時制振興会理事	定時制OB	○
3	田中 清志	駒ヶ根管工業(株)	地元企業代表	○
4	西垣内 磨留美	長野県看護大学教授	地元大学関係者	欠
5	林 恵美子	同窓会副会長	同窓会代表	欠
6	平岡八千代	元全日制PTA副会長	保護者代表	○
7	米山 賢宏	小町屋区区長	地元住民代表	○

職員

学 校 長	伊藤 信夫	生徒指導主任	原 登
全 日 制 教 頭	三輪 元子	生徒会担当	鈴木 良
定 時 制 教 頭	竹内 豊一	3 学 年 主 任	星野 竜郎
事 務 長	土村 正和	2 学 年 主 任	伊坪 一徳
教 務 主 任	北沢 隆	1 学 年 主 任	田中 誠一
商 業 科 主 任	山口 功	教 務 (記 録)	窪田 正利
進 路 指 導 主 任	平谷 清司		

- 1 学校長より (報告) 一年を振り返って

- 2 学校の近況
 - (1) 教務 総合評価、生徒・保護者アンケート報告
 - (2) 進路指導 進路状況報告
 - (3) 生徒指導 問題行動、事故、被害、等の報告、部室キーボックス設置
 - (4) 生徒会 スローガン、活動報告、クラブ実績
 - (5) 商業科 商業科通信、実践発表会、等報告
 - (6) 学年（1年・2年・3年）
 - ① 1年 家庭学習時間の減少、スマホ使用時間の増加、一般入試で合格できる学力について
 - ② 2年 企業説明会参加者、就職希望者の増加について
 - ③ 3年 198名卒業、皆勤20名、3種以上資格合格者11名
 - (7) 定時制の近況
 - ① 70周年記念行事について
 - ② 生活体験発表最優秀賞、等、生徒の活躍について報告
 - ③ 自己評価について

- 3 評議員からのご意見・ご助言・質問 (後述)

評議員からのご意見・ご助言・質問

評議員氏名	助言等
<p>加藤 敬一氏 (赤穂中学校教頭)</p>	<p>赤穂高校は赤中にとって特別な存在。郷土愛が強い地域の学校である。講義型の授業だけでなく、アクティブラーニング型の授業を取り入れたい。部活動も生徒会もキャリア学習的な視点が大切。消滅可能性都市としての駒ヶ根をどうするかをぜひ討論して、キャリアプランニングにつなげていただきたい。</p>
<p>小原 恒敏氏 (定時制振興会 副会長)</p>	<p>部活動 95%は一つの目標に向けて努力する姿勢のあらわれだと思う。商業科の取り組みも地域のことを考えていることが素晴らしい。</p> <p>・質問⇒定時制の今後の見通しは？ 予測は難しいが、県は大切だと思っている。様々な生徒たちの学びの場である 定時制は生きていく力を育てる場所であってほしい。</p>
<p>田中 清志氏 (株)駒ヶ根管工業)</p>	<p>落ち着いている雰囲気のある学校である。一方で積極性や主体的な面が今少しである。進路面などももう少し頑張ればもっと伸びるのに、楽な方向に流れていないか？ スポーツ面でも市民総合体育大会などの地域の大会への参加や、小中学生への指導的な役割を担ってほしい。</p>
<p>平岡 八千代氏 (前全日制 PTA 副会長)</p>	<p>あいさつができる、話しやすい、協力的である等、良い雰囲気の生徒が多い印象。 商業科の資格取得についても、卒業時に気づいたらこれだけ取得できていた、ここまで伸びていた、と感じられ、資格や就職等の未来を見越したカリキュラムがあり子供たちも満足している。だが、授業評価で 35%の満足していない子供が気になる。うまくフォローしてほしい。</p>
<p>米山 賢宏氏 (小町屋区区长)</p>	<p>地域はいろんな面で助けてもらっている。小町屋駅の周辺でも事故のないようにしてもらいたいと願っている</p>